

ボイラー燃料削減10%超

皆川製作所が独自装置

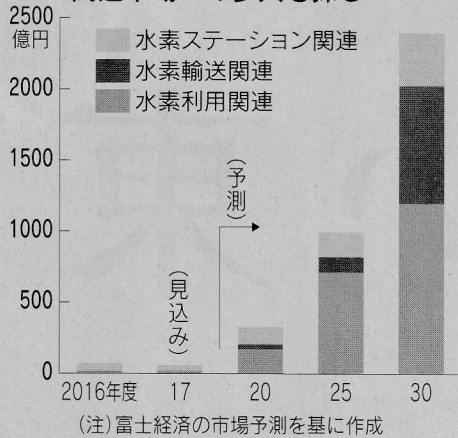
電気製品などの組み立てを専門に手掛ける皆川製作所(新潟県加茂市)は独自開発したボイラー用の燃料削減装置の本格販売に乗り出す。10~20%の燃料費の抑制効果を見込み、工場や温浴施設、ホテルなど向けに展開する。まず2019年6月末までに10台の販売を目指す。新潟大学との共同研究により、装置の性能向上や水素利用に関する開発体制も強化する。

油などの燃焼効率を高めるのが特徴だ。

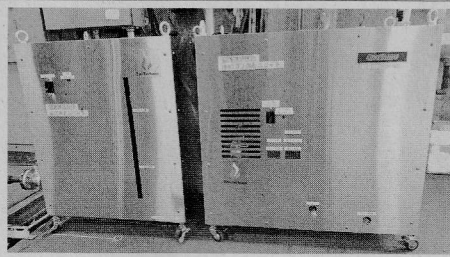
17年にボイラーメーカーと岐阜県の温浴施設で性能を確かめたところ、装置を使わない場合に比べて、約15%の燃料が削減できた。現在も同県と栃木県の2カ所の工場で試験的に設置・稼働を

新潟大と共同研究も 水素活用ならむ

成長が見込まれる水素燃料 関連市場への参入も探る



装置は商社のエナテックノス(東京・千代田)と共同で開発した。水を電気分解してできる、水素と酸素からなる酸水素ガスと呼ぶ気体を使って灯



燃料削減装置はエナテックノス(東京都千代田区)と共同開発した

顔の形・皮膚の維持 軟骨成分 コンドロイチン硫酸

新潟大など

新潟大学や愛知医科大学などの研究グループは、軟骨成分の「コンドロイチン硫酸」が顔や顔の骨、皮膚などが正常に

一部では顎の骨がうまく作られずに前歯が伸び続ける現象もあった。研究グループは今後、身体への働きなどをより詳しく調べた上で創薬につながる候補物質探しを進める。研究成果は英科学誌の「サイエントフィック

ている。

装置の価格は設置場所の環境などによって異なるが、月間の削減効果の2分の1程度の価格でリース販売する。毎月の燃料費を削減できる経済効果を訴える。

皆川製作所は装置の本格的な開発・販売に向けて18年3月に「開発チーム」を立ち上げた。事業所内に装置の組み立て場

所と研究用のスペースを確保し、今秋には2・5倍の広さにエリアを拡張した。現在は4人体制で運営している。

さらに新潟大工学部の八木政行教授と、装置の性能向上に向けた共同研

究を始めた。新潟県の補助を受けて19年3月まで実施を予定する。同社は研究開発の担当者を博士号の取得に向けて大学に派遣している。

装置に関わりが深い水素は産業利用の拡大が見込まれている。新潟県内でも燃料電池(FC)フ

ォークリフトや燃料電池車(FCV)向けの水素ステーションを設置するなどの動きが出ている。

共同研究は早期にノウハウを蓄えることで、将来に向けて「水素を幅広い

場面で使える体制を整える」(井浦章専務)狙いもある。同社は19年に創業60年

経営デザイン認証取得

SRI、県内で唯一

企業の機密文書の保管を手がけるセキュリテイリサイクル研究所(SRI、新潟市)は日本生産性本部が2018年に創設した経営デザイン認証を取得したと発表した。同制度は生産性の改善や改革に積極的に取り組む企業を評価するもので、

第1回として製造業や通信事業者など9組織を認定した。新潟県内の取得はSRIのみだった。上位のランクアップ認証をこのほど得た。同社は文書の保存が必要か否かの仕分けから台帳作成、文書管理の社員教育までを一貫して請け負う総合サービスなどを展開している。

チャーハン味のスナック

亀田製菓

亀田製菓は12月から、チャーハンを一口大のスナック菓子にした「一口飯店 炒飯」を期間限定で発売すると21日発表した。素材と調味料を全て混ぜ合わせて固めるモー

期間限定で

一口大 具材固める

ルド製法を採用。見た目や風味も本物のチャーハンに近づけ、かむと様々な具材の味を感じることができるという。見た目や味わいは中華料理店でお玉で固めて盛り付けられた具だくさんのチャーハンをイメージ。米でできた素材とチャーハン風味の大豆たんぱく、フリーズドライの卵やネギなど具材を固めた。

ミツ 装いはメッセージ!

好みの服地
フィットしたスタイル

カル・オーダー
だわりの一着

中央区寄居町・日本銀行前 TEL(025)224-0663
ムッシュミツ